

寺町に馴染みて老いて花は葉に

マラソンのスタート地点つばくらめ

ゆつくりとラジオ体操麦の秋

午後は影うつろに都忘れかな

掘り立ての筥重き生家なり

杉の花降る私にも古墳にも

葉桜や池にみどりの風走り

薔薇咲いて薄桃色の嬰の耳

砂を踏む足の重さや松の芯

水が水追ふ勢ひの瀧落つる

目も口もまろき埴輪や春の昼

風風ぐや花桐匂ふ奥秩父

露天湯の湯気やはらかに春の月

水門の分厚き扉初燕

川音の豊かに鮎の遡上待つ

新井 うた子

馬場 順子

今川 孝子

成井 侃

島村 喜美子

永山 幸子

藤田 栄子

金田 博子

高橋 伸

武藤 貞一

小林 恵美子

江守 好江

平木 郁子

赤尾杉 昌子

小野瀬 まこと

曇天に溶けゆく花の白さかな

燕子花おほきく咲いてこぬかあめ

群れ群るるおたまじやくしの立ち遊び

文字書いて斜に流れ春の昼

大根の花どこまでも海までも

菜の花の大海原に溺れをり

新川にいくつもの橋花万朶

横丁の灯りはほのと猫の恋

先へ先へ目を泳がせて蕨採る

八重桜華やぐ今朝の道であり

雨音の強くなりゆく春の闇

桜満開図書館は休館日

末黒野やぼつかり浮かぶ遊水地

修二会後の焦げし杉葉を拾ひけり

ゆつくりと濃くなる日暮白牡丹

百瀬 初江

加倉井 悦子

三浦 香都子

大貫 邦子

安田 青葉

村上 洋子

高木 佳子

廣瀬 茂雄

山田 壽子

白鳥 兼子

穴澤 則子

中野 弘子

長島 康子

奥田 郁子

森 清乃